

町内の子育て関連施設の支援力の更なる向上を目指す (岡山県奈義町の場合)

奈義町は、「子育て応援宣言」、「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行い、様々な子育て支援を整備し、令和元年には合計特殊出生率2.95を達成するなど、若い世代の定着と出生数の維持を実現している。幼保連携型認定こども園「奈義町立なぎっ子こども園」を中心に、小、中学校やなぎチャイルドホーム（子育て等支援施設）、放課後児童クラブ等において、「保護者の障害受容」について研修を行い、町内の子育て支援力の更なる向上を目指す。

【サポートの内容】

1. 関係施設の職員を対象に、『ありのままを受け止めるということ ～気になる行動を保護者にどのように共有していくか～』をテーマに、秩父学園職員が講師となり、職員研修を実施。
2. なぎっ子こども園に、秩父学園職員（児童指導員、公認心理師・臨床心理士、作業療法士）が訪問し、園児の様子や保育の様子を観察し、園児についての見立てや助言。

幼保連携型認定こども園「奈義町立なぎっ子こども園」

- 令和6年4月に保育園、幼稚園2園を統合して、定員250名の「なぎっ子こども園」を整備
敷地面積 約8,600㎡ 園舎床面積 2,636㎡
- 異年齢交流など多目的な活動ができる空間「ナギミチ」を整備
- 給食費完全無償、おむつのサブスク、ALTによる英語タイム等独自の取組を実施



【スケジュール】

- 7月29日 奈義町より職員派遣の申込み
8～9月 メール・電話にて打ち合わせ
・どのような困り感があるのか
・どのような支援を希望されているのか
・職員派遣による支援の検討
10月10日 「子育て支援セミナー」の開催
秩父学園職員による講義、有識者による講演
10月11日 なぎっ子こども園を訪問
午前：児童及び支援状況等を観察
午後：各児童の見立て、今後の支援の提案、助言等
1月31日 Zoomによるフォローアップ

【実施概要】

- ① 療育施設等につながない園児への支援の在り方と接続の方法
←『ありのままを受け止めるということ ～気になる行動を保護者にどのように共有していくか～』をテーマに、秩父学園職員が講師となり、職員研修を実施
- ② 個別支援における職員の悩みや手立てのアドバイス
←認定こども園に、秩父学園職員が訪問し、2～5歳児より各1名の様子観察及び聞き取りを行った上で、各児童の見立てと支援案の助言。1月に支援経過のフォローアップを実施

→
職員研修の様子



→
観察後のフィードバック
(見立て・助言)の様子

